

# 照葉樹林だより

56  
No.  
2020 9.10



新緑に輝く木々と青い海と空のハーモニー

晴天の日、新緑に輝く馬の背と青い海、白い雲のコントラストが息を呑むほど美しく、思わずカメラに。

(4月 日向市馬が背 撮影:山下 美保)

公開フォーラム「綾照葉樹林の

..... 2-3 p

生物多様性と恵み」要旨

綾プロ15年目を迎えて ..... 5 p

開催報告

..... 4 p

2019年度 てるはの森の会 活動報告

..... 6 p

本の紹介「秘湯」

..... 7 p

事務局だより

..... 8 p

発行:一般社団法人 てるはの森の会

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス403号

TEL 0985-35-7288 / FAX 0985-35-7289

E-mail: teruha@miyazaki-catv.ne.jp ホームページ: <http://www.teruhanomori.com> (フェイスブックも情報発信しています!)

「綾の照葉樹林プロジェクト」は、日本最大級の面積を誇る綾の照葉樹林の保護・復元を目指す、官民協働のプロジェクトです。

# 綾照葉樹林の 生物多様性と恵み 講演要旨

## 1

## 綾の森と対馬の森 ～日本を代表する照葉樹林をくらべる～

真鍋徹(北九州市立自然史・歴史博物館)

人手がほとんど加わっておらず、かつ広い面積を有する照葉樹林は、ほとんど残っていません。良好な林の条件といえるこれら2要因を有する綾町の林は、日本の照葉樹林の本来の姿を今に伝える極めて貴重な存在です。一方、長崎県対馬市の龍良山（たてらやま、標高約560m）にも、両要因を有する照葉樹林があります。1923年に「龍良山原始林」として国の天然記念物に指定されたこの林は、“山”そのものがご神体とされてきたことなどのため、スダジイやウラジロガシ、イスノキなどの巨木が生育する林として守られてきました。

本フォーラムでは、日本を代表するこの2つの照葉樹林の異同などをご紹介しました。



写真. 対馬「龍良山」の照葉樹林

## 2

## 綾の森の動き ～綾リサーチサイト30年間の調査結果から～

山川博美(森林総合研究所九州支所)

森林総合研究所では、森の動きを解明するため1989年（平成元年）に綾の照葉樹林に4ヘクタール（200m×200m）の調査区を設定し、樹木の生死や成長量について観察してきました。

30年のなかで起こった大きな出来事は1993年（平成5年）の台風13号の直撃です。この台風は再来間隔が100年程度とされる非常に大きなもので、綾の森も大きな被害を受け多くの樹木が倒れました。樹木が倒れた後の林冠には大きな穴（ギャップ）が開き、そのなかで新しい樹木が芽生え、森が少しづつ再生していきます。台風から25年たった今、幹の本数は増えましたが、ギャップは完全に閉じておらず、まだ再生の途中段階であることや、樹木の種類によって再生の速度が違うことが分かりました。



写真. 台風撹乱による幹折れ

# 3

## トークセッション 照葉の森が育む山のくらし

井ノ口三郎(綾町在住)/聞き手:木佐貫ひとみ

一年中緑の照葉樹林ですが、四季折々に変化する自然のなか、その昔、たくさんの生きものとともに人は山で暮らしていました。野菜がよく育った焼畑の自給自足生活、多吉羅の運動会で高下駄を履いた青年団長時代、川中周辺を歩き回った営林署の仕事。特に山中に暮らした青年までは、とにかく朝から晩まで、ある時は明け方まで、動物を追いかけ、川で遊び、大変なことも多かったけど本当にいきいきとして楽しかった。その生活体験のひとつひとつは色あせることなく、今でも心の深いところの躍動をともなって思いだされます。

# 4

## 綾の照葉樹林プロジェクトから綾ユネスコエコパークへの系譜 ～綾の照葉樹林とその恵みを活かした市民活動の広がり～

朱宮丈晴(日本自然保護協会)



写真. 照葉樹林復元に向けた  
間伐実施場所

# 5

## ヤマビルの吸血被害やマダニによる感染症はどうして全国に拡大したのか?

谷重和(ヤマビル研究会)

ニホンジカ(以下シカと略す)の異常な個体数増加に伴う森林被害が、日本各地で深刻となっている。シカはこの25年間で10倍に増え、2015年の推定生息数は約304万頭。2017年の日本の森林被害面積は6000ヘクタールに達し、その森林被害の大部分(74%)はシカの食害によるものである。林床に生えている豊富な下草がシカに食べ尽くされ、地表がむき出しになっている。奥山に下草がなくなるとシカは山を下り、里山や人家周辺にまで草を求めて降りて来るようになった。ところが、シカにはヤマビル・マダニが多く付着しており、シカと共に全国各地に運ばれて拡がった。



写真. 血を吸ったヤマビル

# 綾照葉樹林の生物多様性と恵み 開催報告

2019年11月30日(土)～12月1日(日)

## てるはの森の会

森林総合研究所九州支所は、1989年（令和元年）大森岳照葉樹林にリサーチサイトを設定し観察を続けてきました。設定から30年を記念し、2019年11月30日（土）～12月1日（日）の2日にわたり、公開フォーラム「照葉の森が育む綾の暮らし」（森林総合研究所主催）を綾照葉樹林プロジェクト共催で実施しました。

30日午後1時より、綾町高年者研修センターにて、2～3頁で概要を報告しました5講演とポスターセッションが行われました。4人の専門家の講演と綾町民の井ノ口三郎（元営林署職員）さんが「人が乗ったトロッコを犬が引いていた。川でウナギや山太郎カニを捕った」など、幼少期のかつての山の中の暮らしを紹介しました。

19点のポスター発表も行われました。特に綾中学生の「人と植物が共生する事によってうまれること」「綾とむかばきのユネスコエコパークの違い・共通点」や、宮崎大学生等若い人の発表が、多くの人の関心を集めています。116名の参加があり、終わりの時間を超えて質問が寄せられ、大変盛況でした。

その後、18時30分から、「綾の里」に場所を移し、伝統綾神楽編～神楽復元の披露～が行われました。しんしんと冷えゆく夜、かがり火に照らされ笛や太鼓の流れる中、神楽が舞われ、暗闇の中で神楽の白装束が美しく光り、幻想的な光景でした。神楽終了後、「綾の里」店内にて照葉樹林文化の伝統食、あくまき、鮎の塩焼き、甘酒がふるまわれました。

翌1日、快晴の朝9時に綾町体育館に集合し、リサーチサイトへ出発。大森岳林道から、急斜面をリサーチサイトまで下り、森林総合研究所の方々にサイトの説明を受けました。今度は下った急斜面を何度も休憩しながら登りました。そして林道の展望の良い所で、みんなでお弁当を広げました。お弁当も山野草を中心とした珍しいもの満載の綾町特製弁当で、食材の説明を聞きながら、賞味しました。44名の皆さんが出発されました。

今回、フォーラム後に神楽の披露や照葉樹林食文化体験など盛りだくさんの企画が、綾町民の多くの方のご協力で行なうことが出来ました。この紙面を借り、お礼申し上げます。



神楽の披露



綾町特製弁当



綾リサーチサイトへ出発(大森岳林道)

# 綾プロ15年目を迎えて ～綾プロ新しい仕組みづくり～

(一社)てるはの森の会代表理事 石田達也

「綾川流域照葉樹林保護・復元プロジェクト」(略称：綾プロ)が始まって15年の月日が経ちました。最初の5年くらいは設立時の熱い想いで活動してきました。ユネスコエコパークへの登録を経て現在に至りますが、今年に入りコロナ禍の影響により、殆ど何も出来ていない日々が続いています。

そんな中、今年度から綾プロの事務局を、綾町と九州森林管理局(熊本)が半年間ずつ、実験的に担うことになりました。今までてるはの森の会が担当していた役割を、協定を結んでいる五者のうち二者がやってみて、できれば事務局の負担を減らそうというわけです。

しかしながら、担当する事務局業務は、会議の為の資料作りや日程調整等会議に関わる業務で、綾プロのサポーターである、てるはの森の会員の管理や、イベントの準備に関しては、今まで通り、我が会が担うという事になり、今年度はとにかくやってみようということになりました。これは、令和2年2月に開催された、第31回連携会議で承認されたことで、遅くなりましたがご報告させていただきます。

15年の月日は早くて短いものです。今の価値観や手法はその時とは比べものにならないほど変化しています。設立時に取り決めた流れに固執することはありませんが、本当に、このプロジェクトを遂行するために必要なものは一体何なのでしょうか？よく議論して100年間活動を続けるためには、どうバトンを渡していくべきなのか？そこを明確にしなければいけない時期に来ています。

(いしだたつや・宮崎市)



綾プロ運営検討会

# 2019年度 てるはの森の会 活動報告

11月23日(土) & 2月20日(木)

## シカ柵ネット設置作業



3月 プロジェクト内4カ所

## 見本林看板設置



2月23日(日)川中自然公園整備

## 梅まつり× 落ち葉かき作業



2月4日 大人の山学校コース選定

## 綾プロ地域づくり ワーキンググループ



照葉樹林だより第56号(2020年9月10日)

## 綾の照葉樹林プロジェクト実現のための活動

### プロジェクト運営体制の見直し

今年度は、5回の検討会を行い、①連携会議会則について②事務局業務内容について③事務局業務に対する支援について④てるはの森の会の会員についての4項目について話し合われました。その結果、2020年度（令和2年）は、事務局業務を、4月～10月九州森林管理局計画課、11月～3月綾町ユネスコエコパーク推進室が担当し、事務局体制を見直すことが提案されました。尚、会員の募集、会報の発行は行政では対応できないので、引き続きてるはの森の会がおこないます。1年の施行期間を経て、抜本的な見直しが行われます。

## 自然を学ぶ、人に触れる

### フォーラムの実施

森林総合研究所綾リサーチサブ30周年記念公開フォーラム「照葉の森が育む綾の暮らし」（森林総合研究所主催）11月30日～12月1日に開催しました。詳細は、P2～4をご覧ください。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

### シカネット設置作業をボランティアで行いました！

今年もソーラーフロンティア株国富工場や大和ハウス工業㈱、会員、綾町民らと11月、2月の2回実施し、延べ84名が参加しました。シカによる食害が大きいことから、これまで間伐作業した場所にシカネットを設置しました。

## 森の整備・調査

### 見本林の看板を設置しました！

人工林を照葉樹林に復元する過程や復元時状況を野外標本として、広く市民に見てもらうために、国有林2カ所、県有林1カ所、町有林1カ所に看板を設置しました。①復元へのイメージ図②プロジェクトの概要③見本林の概要④現在地（地図）が掲載されています。

### ヤマビル調査内容と活動をまとめた報告書を作成しました！

調査活動に関する学習会を実施し、116名が参加。歩道と途中の注意喚起看板を設置しました。



### ボランティア林床調査の実施

シカネット設置作業に伴い、シカネットの中と外の比較ができるような場所に調査プロットを設定しました。11月23日、2月20日に林床調査を行い、延べ27名が参加しました。数年後、シカネットの内外で植物の生育にどのような差が生じるのか、楽しみです。

### 川中自然公園遊歩道の整備を行いました！

川中神社梅まつり（2月23日）に合わせて、遊歩道、製材所跡の整備を行いました。その後、川中神社に移動し、梅まつりに参加しました。祭りのふるまい料理を頂き、毎年好評の「森の落ち葉かき」を終了しました。今年も2月開催予定です。楽しみにお待ちください！

## 森と共生した地域づくり

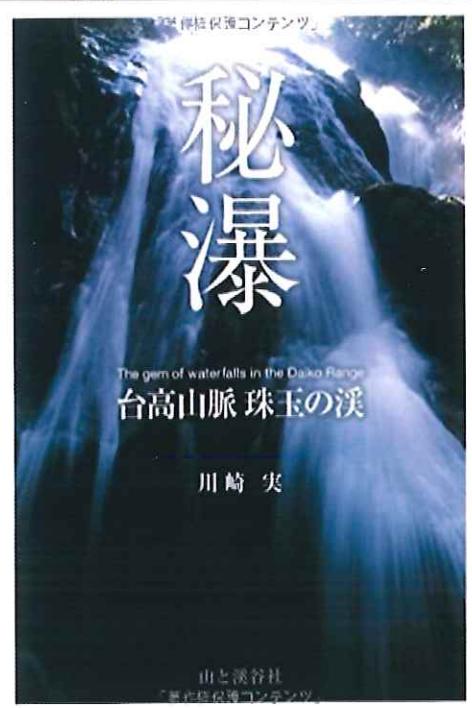
### 地域づくりワーキンググループ

上畠自治公民館を中心に昼食付里山体験ツアー「おとなの山学校」事業実施に向け、コースの選定、パンフレットの策定中。2020年中にはモニターツアーを実地の予定です。

# 川崎 実 『秘瀑』台高山脈 珠玉の渓

山と溪谷社2011

会員 小川 渉



先般の綾プロ連絡調整会議、宮崎森林管理署の事業説明で、綾北ダム周辺の地図が示されました。この機会にと思い、ダム直下左岸に懸かる連瀑を紹介しました。綾の照葉樹林には、規模の大きな滝はありませんが、私の知る限り、最も見栄えのする滝だと思っています。

私は、綾町に移住する直前の2年間、集中的に全国の滝を巡りました。深田久弥『日本百名山』に倣い、日本百名瀑を自力で選定しようとしていたからですが、未完のまま今日に至っています。その過程で様々な資料・情報に触れる中、世間的に知られていないものの凄い人、本物だと思う人物を発見しました。その一人が本書の著者、川崎 実氏です。

氏は、日本独特の登山形態である沢登りを濃密に実践、最先端でリードしたことで知られています。主な舞台は紀伊半島の台高山脈・大峰山

脈(ユネスコエコパーク登録地)です。本州最多雨地帯の大台ヶ原を中心とした深山幽谷に分け入りました。70年～80年代の先鋭的な沢登りから90年代以降は、かつて挑んだ滝を単独行で丹念に撮影することに切り替えました。その集大成としての本書は、台高山脈の秘瀑500本の姿を切りとった美しい写真集であり、解説書でもあります。何より未知の世界を炙り出した記録として輝きを放っています。

川崎 実氏が2010年、61歳で大峰のゴルジュ※に逝ってしまった後、仲間の助けて書籍化されたものです。口絵は高い透明度のエメラルドの淵。映像に添えられた本人の言葉「沢登りを知り、自然の真っ只中で自然の中の自分を意識したとき、初めて自分が生きている基盤が何であるかが分かりそうな気がした」が印象的です。

本書は絶版ですが、出版社にあった最後の一冊を入手し、綾ては図書館の蔵書になりました。

※ゴルジュ 山の用語：切り立った大きな岩壁にはさまれた狭い谷、語源はフランス語の「のど」の意

(おがわ わたる・綾町)

# 事務局だより



## ◆ てるはの森の会 関連行事

### \*終了した行事\*

- 10月 25日(木) 森の驛電話回線休止  
31日(木) フォーラムチラシ発送  
ヒヤリング(脊梁の原生林を守る連絡協議会)
- 11月 12~13日 ヤマビル調査  
17日(日) 地域づくりWG 開催  
22日(金) 第5回 綾プロ連絡調整会議  
綾プロ運営の検討会  
23日(土) 復元ボランティアシカ柵ネット張(40名)  
林床植生調査(9名)  
24日(日) 照葉樹林ガイドボランティア(7名)  
30~1日 公開フォーラム  
「綾照葉樹林の生物多様性と恵み」
- 12月 5日(木) ヤマビル調査事業報告会(inエコプロ東京)  
14日(土) 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会  
情報交換会(in 延岡)  
16日(月) 地域づくりWG 開催  
24日(火) 綾プロ運営の検討会
- 1月 24日(金) 第5回 綾プロ連絡調整会議  
30日(木) 第6回 綾プロ連絡調整会議  
綾プロ運営の検討会
- 2月 4日(火) 里山(大人の山学校)コース下見  
地域づくりWG 開催  
9日(日) 綾プロ事業報告会(綾町公民館大会)  
19日(水) 第7回 綾プロ連絡調整会議  
第31回綾プロ連携会議  
20日(木) 復元ボランティアシカ柵ネット張(43名)  
林床植生調査(18名)  
21日(金) 川中下見  
23日(日) 梅まつり×森の落ち葉かき(25名)  
26日(水) 地域づくりWG 開催
- 3月 1日(日) 照葉樹林ガイドボランティア(4名)  
4~5日 ヤマビル調査視察(コロナ禍にて中止)  
20日(金) 照葉樹林ガイドボランティア研修(中止)
- 4月 22日(水) 地域づくりWG(延期)
- 6月 23日(月) 地域づくりWG 開催  
9日(火) 地域づくりWG 開催
- 7月 18日(木) (一社)てるはの森の会総会  
16日(木) 地域づくりWG 開催  
28日(火) 令和2年度 第1回 綾プロ連絡調整会議  
綾プロ運営の検討会

\*今後の予定\* (予告なく変更になる場合があります、ご了承ください。)

- 9月 17日(木) 地域づくりワーキング  
24日(木) 第2回 綾プロ連絡調整会議  
第32回 綾プロ連携会議

## ◆ ガイドの受け入れをお断りしています!

てるはの森の会では、コロナ感染防止のため、現在はガイドの受け入れをお断りしています。

ガイド事業再開の時は、ホームページにてご連絡いたしますので、もうしばらくお待ちください!

## ◆ 「下村ゆかり」さんが事務局を退職されました!

3月末にてるはの森の会を退職しました。10年間事務局を勤めました。山が好き!という思いだけで飛び込んだNPOの世界でしたが、たくさんの人々に出会い、宮崎県の自然保護や地域づくりに関わる人たちと活動をともにし、たった10年ですが本当に多くのことを学ばせていただきました。支えられることのできたひとつひとつを取り組みが、これから綾町や宮崎県の森林づくり・地域づくりの役に立てていたら嬉しいです。

(しもむらゆかり・都城市)

## ◆ 「相馬美佐子」が事務局を引継ました。

「下村ゆかり」さんの後、事務局を引き継ぎました。てるはの森の会退職後4年のブランクがあり、秋の気配がするこの頃、ようやく仕事の要領を思い出しています。

5頁で詳細は報告しましたが、綾プロ事務局の仕事を森林管理局計画課(熊本)に引き継ぎ、現在てるはの森の会の仕事だけを行っています。業務量は半分以下になり、事務所にも毎日は顔を出しておりません。

事務所電話は代表理事の石田に転送されます。メールとFAXは相馬自宅PCでも見られますので、どうぞご連絡ください。コロナ禍ではありませんが、図らずもリモートワークを行っています。

事務所にお越しの際は、前もってご連絡ください!

ご寄付をいただきました。大切に使わせていただきます。

(敬称略 令和2年4月30日まで) 道家哲平、富岡順子  
吊橋募金 (5,568円)

## 会員募集中!

(一社)てるはの森の会では、綾の照葉樹林プロジェクト(綾プロ)にご協力いただける会員を募集しています。会員になっていただくと、照葉樹林や綾プロに関する情報を掲載した「照葉樹林だより」を年3回お届けします。綾プロが実施するイベントや各種行事に参加できます。詳細は事務局までお気軽にお問合せください。

## 年会費

個人会員	2,000円
団体会員	5,000円
法人会員	10,000円